

第5節 斎場整備室

〔総括概要〕

栃木市斎場は、昭和29年に日ノ出町から平井町に移転した後、昭和54年に施設を改築し、現在に至っている。

火葬設備は、市民生活に不可欠な都市施設であり、その機能は絶えることなく維持する必要がある。しかし、市町合併や人口構造の変化等により今後火葬件数が増加し、現在の施設規模では対応できなくなることが予想されるほか、現施設は建築後33年が経過し老朽化が進んでいることから、斎場の再整備を行うこととした。

斎場再整備の円滑かつ積極的な推進を図るため、7月に斎場整備室が設置され、1担当1チームの体制により事務を推進している。

事業を進めるにあたっては、斎場再整備の基本構想を策定し、基本計画を経て設計や工事の実施等に進んでいくこととした。そのため、具体的取組みとして、基本構想及び基本計画について業務委託契約を締結し、原案作成を行った後、基本構想を3月に策定した。また、計画等の策定にあたって、内容を審議するため、市民代表等による栃木市斎場再整備検討委員会や市の内部組織として栃木市斎場再整備検討部会等を設置した。

斎場整備担当

1 栃木市斎場再整備基本構想・基本計画策定業務

斎場再整備を円滑に進めるため、業務委託を行い、基本構想・基本計画の原案作成を行った。

- ・委託業務名 新火葬場整備基本構想及び基本計画策定業務委託
- ・契約日 7月24日
- ・相手方 (株)日本環境工学設計事務所
- ・委託金額 3,969,000円（1月に変更契約：3,076,500円）

2 栃木市斎場再整備検討委員会

斎場再整備事業を進める上で、広く市民の意見を求めるため、栃木市斎場再整備検討委員会を設置した。

(1) 構成（計17人）

学識経験者1人、各地域協議会4人、栃木地域まちづくり検討委員会1人、公共的団体代表者5人（自治会連絡協議会、民生委員児童委員協議会連合会、女性団体連絡会、老人クラブ連合会、PTA連合会）、公募3人、市職員1人（生活環境部長）、市民活動団体1人、葬祭事業者1人

(2) 委嘱期間 11月13日から2年間

(3) 会議等開催状況

区 分	開催日	主な協議内容
第1回	11月13日(火)	委嘱状交付、斎場の現状、事業の進め方等
視察研修	11月30日(金)	先進地視察 深丘園(深谷市)、しらゆり聖苑(渋川市)
第2回	12月14日(金)	基本構想案
第3回	1月11日(金)	基本構想案最終確認
第4回	2月 4日(月)	基本計画案(スケジュール、平面構成、炉数等)
第5回	3月15日(金)	基本計画案(平面構成、式場・ペット炉等)

3 庁内組織

(1) 栃木市斎場再整備検討部会

- ・ 構成 生活環境部長、関係課長20人(斎場整備室長含む)、岩舟町職員2人(オブザーバー)
- ・ 開催状況

区 分	開催日	主な協議内容
視察研修	10月10日(水)	先進地視察 深丘園(深谷市)、栃木市斎場
第1回	10月23日(火)	基本構想案についての検討
第2回	12月 3日(月)	〃
第3回	12月27日(木)	〃
第4回	1月30日(水)	基本計画案についての検討
第5回	3月 6日(水)	〃
第6回	3月27日(水)	〃

(2) 栃木市斎場再整備作業部会

- ・ 構成 斎場整備室長、関係課18課の担当者
- ・ 開催状況

区 分	開催日	主な協議内容
第1回	9月20日(木)	基本構想案についての検討
第2回	11月26日(月)	〃
第3回	12月17日(月)	〃
第4回	2月25日(月)	基本計画案についての検討

4 栃木市斎場再整備基本構想の策定

- ・ 策定日 3月18日
- ・ 内容 新たな栃木市斎場を整備する上での基本的な考えをまとめたもの
- ・ その他 2月6日(水)～3月5日(火)までの1か月間パブリックコメントを実施した。